

農業振興公社だより

高島屋二子玉川店にて角田農産物販売イベントを開催（農業経営実践塾）



十月十九日から二十五日にかけて、東京都世田谷区の高島屋二子玉川店にて、あぶくま農学校農業経営実践塾の塾生が、角田農産物の販売を行いました。

このイベントは、宮城県フードマネジメントシステム（FMS）が行う「食材王国みやぎ」のプロモーションの一環で、みやぎの食品・食材の良さをPRすることを目的に開催されたものです。

農業経営実践塾では、経営の基盤を強化するため角田農産物のブランド化の方策を検討しています。

今回のイベントは大消費地の首都圏で販売感を磨き、今後のブランド化の実践と販売チャンネルの拡大に役立てるための学習の場と位置付けており、塾生自らが販売の現場に立つことで消費者の生の声を聞くなど、体験的に、経営に役立つ様々なことを学んでもらうことを主眼に置いています。

会場には、牛タン、ずんだもち、白石うーめん、気仙沼のサンマなどみやぎの多彩な食材が並び、角田からはあぶくま農学校のブランドを冠して、米、シイタケ、ゴボウ、ブロッコリー、ナシなどの生鮮食品に、梅干し、梅ドリンクなどの加工品を加えた多彩なラインナップで販売しました。

塾生は二十名ほどが交代で参加し、試食をすすめたり、商品の説明をしたりと、生産者自らが販売員となつて、自分で作ったものを直接お客様にお届けしました。

◆発行と印刷◆
(社)角田市農業振興公社
〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊22
電話 (0224) 63-2328
FAX (0224) 61-1521
URL <http://www.kakunou.or.jp/> E-mail kakuda@kakunou.or.jp

高島屋は首都圏の百貨店の中でも高級なイメージを打ち出しているところで、特に二子玉川店は田園調布などの高級住宅地が近いことから高級志向の顧客ニーズを意識して、品質やイメージを重視した販売戦略が必要ということで、あぶくま農学校のむぎわら帽子のシンボルマークを商品のブランドマークとして活用し、角田の農産物に高級なイメージを付加して販売するという方法を取りました。

その戦略が功を奏して、宮城県全体で、十三の業者がこのイベントに参加しましたが、あぶくま農学校ブランドは売上高で上位にランクインするなど健闘しました。

その反面、客層は惣菜などの加工品のニーズが高く生鮮食品が売れにくいようで、売上の予想が難しく商品の在庫が出るなど課題も残りしました。

農業経営実践塾においてはこうした課題をもっと掘り下げ、今後の展開に生かしていくことが、塾生の最も重要な学習活動となってきます。



あぶくま農学校ブランドの認識には手応えが感じられました。が、販売の厳しさ、難しさを実感し共通認識が出来たことは、これからの塾の展開において大きな収穫だったと思います。

最後に、初めての試みということもあり、慣れない販売の現場で、参加していただいた塾生の皆さんは大変なご苦労だったと思います。あらためてお疲れ様でした。